

輝け！シン尾花沢中

第112号

令和8年

10月2日

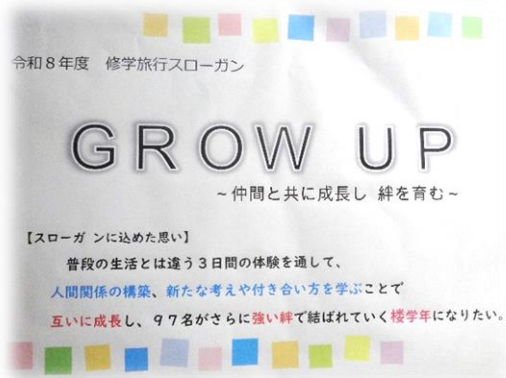
長根の山の ふもとはら 遠いゆかりの おもだかの

小さな「我慢」と大きな「感謝」～修学旅行後の成長した姿に期待～

7日（水）から、2年生とともに修学旅行に行きます。

およその行程は次の通りです。

7日（水）	皇居散策、昼食（花の舞東京江戸博物館前店）、国会議事堂見学、夕食（有明ガーデンフードコート）、観劇（劇団四季「ライオンキング」）
8日（木）	首都圏班別研修・企業訪問、東京ディズニーシー
9日（金）	浅草寺散策、上野エリア班別自主研修



中学校の修学旅行は、一生に一度しかありません。

スローガン「GROW UP～仲間と共に成長し 絆を育む～」には、「この修学旅行を通し、個人として、集団として成長したい」という、2年生の強い思いが込められているように感じます。

では、自分の成長した姿とはどのようなものでしょうか。ぜひ、一人ひとり具体的にイメージしてほしいと思います。

私は、仲間の心の痛みを分かろうとし、仲間の役に立とうとする2年生一人ひとりの姿を期待します。これは、本校の校訓「誠実」「活力」に係る目指す生徒像とも関連付くものです。

ポイントは2つあります。小さな「我慢」と大きな「感謝」です。

価値観の異なる仲間と行動を共にしたときに、どこかで折り合いをつけなければいけない場面が必ず出てきます。自分の思いだけでなく、仲間の思いを大切にするには小さな「我慢」が不可欠であると思います。

また、折り合いをつけてくれた相手に対して「譲ってくれてありがとう」と大きな「感謝」をすることも大切です。

自分も幸せ、仲間も幸せで最終日を迎えれば、これまで以上に強い絆で結ばれた学年に成長したと言えるのではないのでしょうか。

帰ったら、修学旅行に行かせてくださった家族に感謝の気持ちを伝えるとともに、たくさんの思い出話をしてください。家族にとっての最高のお土産となり、家族も幸せになることでしょう。

スローガンを常に念頭に置きつつ、自分たちで自分たちの旅行を創り上げてほしいものです。【文責：校長 工藤雅史】

隊形練習をする2年生

